

現地調査の実施状況

- ・ 2号機原子炉建屋天井から採取したコア等の確認
- ・ 2号機原子炉建屋
(原子炉ウエル差圧調整弁、建屋内スミア採取)

2023年9月12日

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

(1) 2号機原子炉建屋天井から
採取したコア等の確認

(1) 2号機原子炉建屋天井から採取したコア等の確認

(1) 目的

3号機の水素爆発時の火炎色／黒煙の要因を検討するために、2号機原子炉建屋天井から採取したコア(天井の防水層の状況)を確認する。

(2) 場所 2号機原子炉建屋西側構台下段フロア(コア保管場所)

(3) 調査日 2023年7月27日

(4) 調査実施者 原子力規制庁職員 5名

(5) 被ばく線量

最大: 0.19 mSv、最小: 0.14 mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

コアの確認状況

2号機原子炉建屋
天井から抜いたコア



コンクリートコア
の防水層

2号機原子炉
建屋屋上

屋上表面
の防水層



3号機原子炉建屋

防水層の残骸

(2) 2号機原子炉建屋 (原子炉ウエル差圧調整弁)

(2) 2号機原子炉建屋（原子炉ウェル差圧調整弁）

(1) 目的

2号機原子炉建屋内の放射性物質の放出経路の検討に資するために、原子炉キャビティ差圧調整弁の事故時の開閉状況等を確認する。

(2) 場所

2号機原子炉建屋

(3) 調査日

2023年8月30日

(4) 調査実施者

原子力規制庁職員 3名

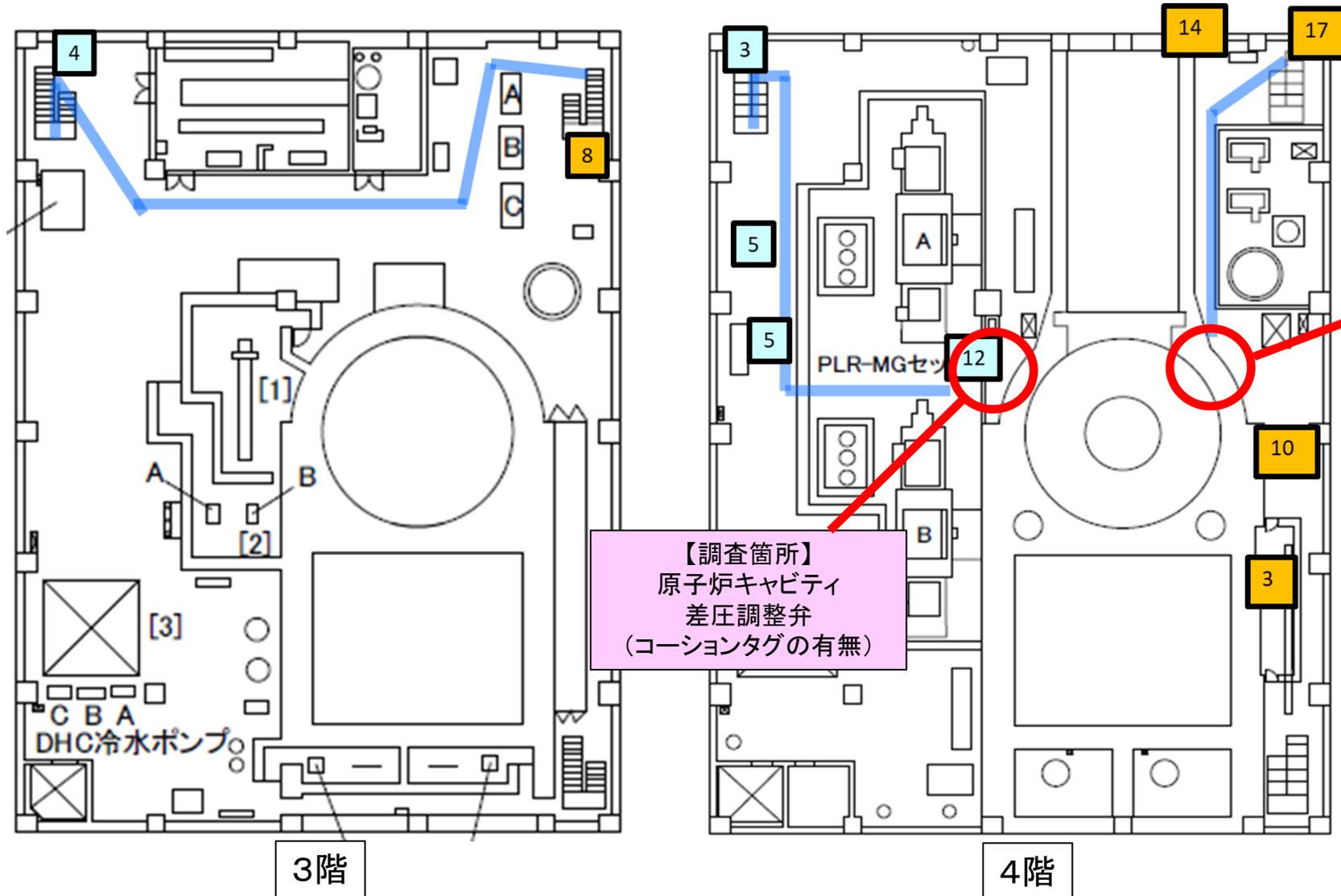
(5) 被ばく線量

最大: 2.29 mSv、最小: 2.14mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

調査ルート、調査箇所

- :空間線量率 (mSv/h)
2022/12/22、原子力規制庁
- :空間線量率 (mSv/h)
2020/9/10、10/8、原子力規制庁



【調査箇所】
原子炉キャビティ差圧調整弁
(弁の開閉状態)
(コーションタグの有無)

【調査箇所】
原子炉キャビティ差圧調整弁
(コーションタグの有無)

3階

4階

確認結果(西側の差圧調整弁)



弁全景(差圧調整前弁)



手動ハンドル

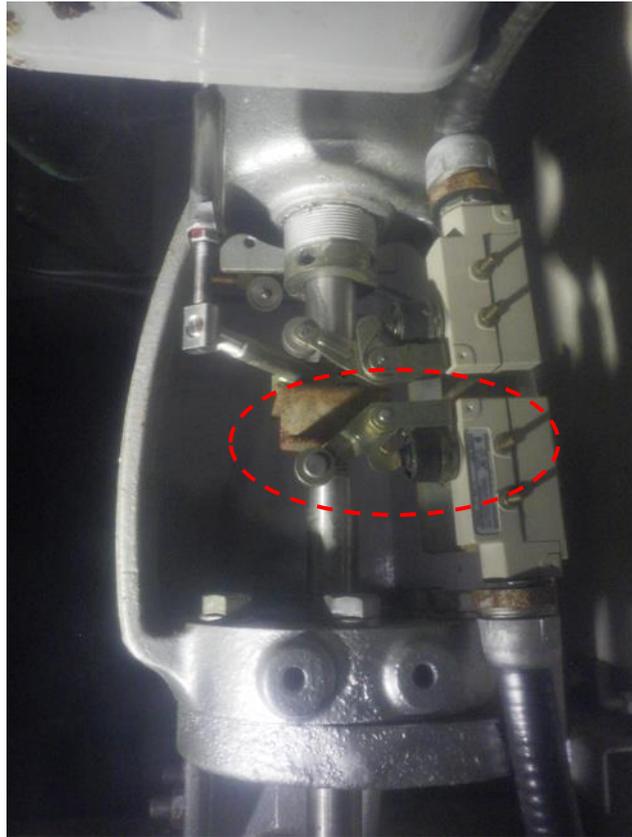


弁ポジション計



開度計(差圧調整前弁)

確認結果(東側の差圧調整弁)



リミットスイッチ(差圧調整前弁)



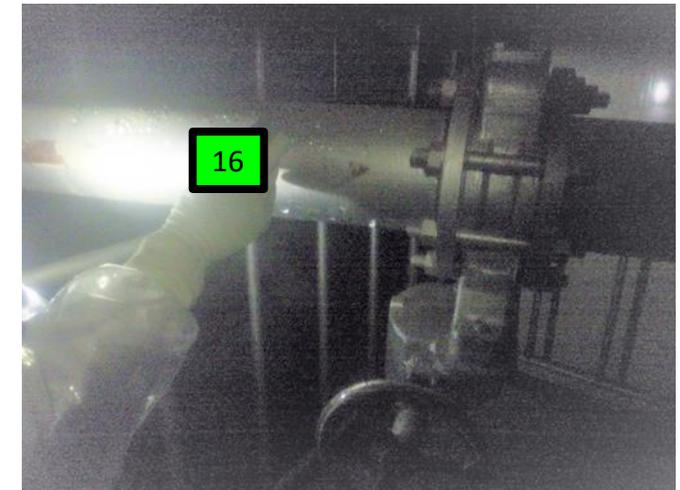
開度計(差圧調整前弁)



手動ハンドル(差圧調整前弁)



開度計(差圧調整後弁)



配管の表面線量率(差圧調整後弁付近)

(3) 2号機原子炉建屋（スミア試料採取）

(3) 2号機原子炉建屋

(1) 目的

2号機における放射性物質の放出経路の推定に係る検討に資するため、2号機原子炉建屋内の階段等からスミア試料を採取する。

(2) 場所

2号機原子炉建屋

(3) 調査日

2023年8月30日

(4) 調査実施者

原子力規制庁職員 3名

(5) 被ばく線量

最大: 1.55 mSv、最小: 1.38 mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

調査ルート、試料採取箇所（4階）



スミア採取の様子



採取したスミア試料

調査ルート、試料採取箇所（3階）



調査ルート、試料採取箇所（2階）



- :空間線量率(mSv/h)
2022/12/22、原子力規制庁
- :空間線量率(mSv/h)
2020/9/10、10/8、原子力規制庁
- :過去のスミア採取箇所
(原子力規制庁)

スミア採取箇所⑦(床面)⑧(壁面)
(2階南西側付近)

壁面、床面

